



# 一般質問から

# 常山議員の9月議会



## 防災対策の山林整備と

### 山の資源をいかした

JUSVMJUSVMJUSVM

(質 問) 土砂災害防止法に基づき、町内の基礎調査が実施され、調査結果の説明会も行われた。住民の不安や要望を受けて、防災にどう具体化していくのか。

(答 弁) 《建設課》町が所管する河川の改修工事は、これまでどおり適切に執行していく。県土事業についても、地域住民の要望・意見や連絡調整、用地確保の連携など協力していく。

《総務課》今年度町が見直しをしている地域防災計画とハザードマップに県が指定した警戒区域、特別警戒区域を盛り込み、土砂災害にそなえて地域の情報収集、自主的避難と安全な避難経路の説明をしていく。《産業観光課》現在、具体的な間伐事業はしていないが、国庫補助の美しい森づくり事業や県補助の彩の国みどりの基金がある。間伐材の活用としては、木の駅プロジェクトなどがある。(質 問) 大雪で被害を受けた日野沢藤原地区の道路わきの木の伐採が9月末事業で終了する。伐採された

木は、そのまま放置され危険です。今後、予算をとって整備する考えはあるか。

(答 弁) 主旨はよくわかるが、プロが見て大丈夫だと言っている。町の厳しい財政の中でどこまでやりきれない。

(質 問) 山の資源をいかした取組み、山林整備を進める中で、間伐材などを利用してエネルギーへ転換させていく。地域の資源をいかして、町に働く場所をつくり、町を活性化させる。これは今、政府から作成を求められている。「地方版総合戦略」ではないか。考えていってほしい。

(答 弁) 研究してみたいと思います。

## 学校給食の地産地消を

### 進めるために

(質 問) 給食で使われている地元産の野菜の使用量が、年々減少しているが(答 弁) 品物があれば、いくらでも使いたい。そろわないので減少している。

(質 問) 昨年給食センターで使ってもらったので、今年もと予想を立てて作ったが使ってもらえなかった。と聞いている。計画的に生産者に野菜づくりを依頼する必要がある。JA任せにしないで、栄養士を含む給食センター、

生産者、JAが連携をとるながらやっていくべきです。

(答 弁) 去年話し合いを持ち、今後皆野産で足りない時は、秩父地域内で生産したものを使つと確認しました。また、作っても使ってもらえない。そんなことがないよう、検討委員会を立ち上げていきたい。

### ☆請願審査 報告

「国際平和支援法案」「平和安全法制整備法案」の慎重審議を求める意見書の提出を求める請願

「この請願は「憲法9条を守る野の会」から出されました。

(いわゆる「戦争法案」といわれるものです) 請願は議会運営委員会にかけられ総務・教育・厚生常任委員会に付託されることになりました。

常山議員は委員会に付託すること「反対」今、国会の緊迫した状況を議員のみなさんが知らないとは思えません、一刻を争う請願を委員会に付託するということは、町民の意思を無視することでもあります。この本会議で討論し、意思表示をする、それが議会議員の役目ではないでしょうか」と発言。

しかし、反対は常山議員だけで、委員会付託となりました。

## 議員のひろらひ

常山 知子



「今日もプチ家出して、国会前に立っています」と友人からメール。「まだ国会前に来ちゃった！」とメールをくれたのは私の娘。「日本はどうなっちゃうの?」いても立ってもいられない気持ちだが、国会前へと足をむけたようです。そして政治にはほとんど関心を示してこなかった息子も18日にはそこにいたので「私たちの分までがんばって!」と秩父から応援しました。

19日未明「安全保障関連法案」は可決されてしまいました。

日本列島2000力所以上で「廃案」の声が響きました。若者が、こどもを持つ若いお母さん、戦争体験者が、そして学者、芸能人、多くの国民が憲法違反の法律はダメと声をあげました。安倍首相や法案賛成の方は「国民の生命、財産を守るためだ」「国際情勢の変化、北朝鮮が、中国が…」といいます。軍事対軍事ではなく、平和憲法を持つ日本が果たす役割は他にあるのではないのでしょうか。

今回、私たち一人一人が主権者として「憲法を守れ」と声を出し、政治に無関心だった多くの若者が「なんかおかしいよ」「民主主義って何だ!」と声をあげたことは未来に希望を見いだしたと思います。

